

学修の成果に係る評価及び卒業・修了の要件

1. 単位の認定

単位の認定の可否は、成績評価の結果で判定を行います。授業科目の成績評価の方法は、科目ごとに「シラバス」に明記しており、その方法に従って厳正に実施されています。成績評価は、筆記試験、実技試験、レポート、口述試験、学習成果物の併用等によって行います。成績評価基準は、表1のとおりとなります。

表1 成績評価基準

* G P Aの数値は小数点第2位を四捨五入しています。

判定	評価	評点	G P	評価内容
合格	S	100~90点	4.0	特に優れた成績 (学習目標をほぼ完全に達成している)
	A	89~80点	3.0	優れた成績 (学習目標を相当に達成している)
	B	79~70点	2.0	良好な成績 (学習目標を相応に達成しているが、不十分な点がある)
	C	69~60点	1.0	合格と認められる成績 (学習目標の最低限は満たしている)
不合格	不可	59点以下	0.0	不合格 (学習目標の最低限を満たしていない)
	欠席	—	0.0	再試験欠席又は、単位認定試験欠席
	無資格	—	0.0	全授業数の3分の1を超える欠席の場合
G P 対象外	認定	—	—	他大学等で修得した科目を本学の単位として認定した科目
	中止	—	—	指定の期日までに中止を申し出た選択科目

2. 卒業・修了の要件（2018年度入学者）

本学の卒業要件は表2のとおり、専攻科の修了要件は表3のとおりに設定しています。

表2 卒業の要件

学科	専攻 コース	要 件	必修科目		選択科目	
			基礎教育科目	専門教育科目	基礎教育科目	専門教育科目
生活科学科	生活科学専攻 生活文化コース	入学後2年以上の在学が必要となる。 ※休学期間は在学期間に加算されない。 2年次修了時点で、当該コースの全ての必修科目及び指定された単位数以上の選択科目の単位を修得し、総単位数が62単位以上であること。	8単位	21単位	4単位 以上	29単位 以上
	生活科学専攻 養護教諭コース	入学後2年以上の在学が必要となる。 ※休学期間は在学期間に加算されない。 2年次修了時点で、当該コースの全ての必修科目及び指定された単位数以上の選択科目の単位を修得し、総単位数が62単位以上であること。	4単位	4単位	8単位 以上	46単位 以上
	食物栄養専攻 栄養士コース	入学後2年以上の在学が必要となる。 ※休学期間は在学期間に加算されない。 2年次修了時点で、当該専攻の全ての必修科目及び指定された単位数以上の選択科目の単位を修得し、総単位数が64単位以上であること。	6単位	52単位	6単位 以上	—
こども教育学科	こども教育専攻 こども教育コース	入学後2年以上の在学が必要となる。 ※休学期間は在学期間に加算されない。 2年次修了時点で、当該専攻の全ての必修科目及び指定された単位数以上の選択科目の単位を修得し、総単位数が62単位以上であること。	6単位	30単位	6単位 以上	20単位 以上
	こども教育専攻 (通信教育課程)	入学後3年以上の在学が必要となる。 ※休学期間は在学期間に加算されない。 3年次修了時点で、当該専攻の全ての必修科目及び指定された単位数以上の選択科目の単位を修得し、総単位数が93単位以上であること。	7単位	34単位	2単位 以上	16単位 以上
ライフケア学科	臨床検査専攻 臨床検査コース	入学後3年以上の在学が必要となる。 ※休学期間は在学期間に加算されない。 3年次修了時点で、当該専攻の全ての必修科目の単位を修得し、総単位数が99単位以上であること。	14単位	85単位	—	—
	柔道整復専攻 柔道整復コース	入学後3年以上の在学が必要となる。 ※休学期間は在学期間に加算されない。 3年次修了時点で、当該専攻の全ての必修科目の単位を修得し、総単位数が100単位以上であること。	14単位	86単位	—	—
	柔道整復専攻(一部)	入学後3年以上の在学が必要となる。 ※休学期間は在学期間に加算されない。 3年次修了時点で、当該専攻の全ての必修科目の単位を修得し、総単位数が100単位以上であること。	14単位	86単位	—	—

表3 修了の要件

学科	専攻	要件	必修科目		選択科目	
			基礎教育科目	専門教育科目	基礎教育科目	専門教育科目
専攻科	こども教育学専攻	<p>入学後1年以上の在学が必要となる。</p> <p>※休学期間は在学期間に加算されない。</p> <p>1年次修了時点で、当該専攻の必修科目及び指定された単位数以上の選択必修科目、選択科目の単位を修得し、総単位数が22単位以上であること。</p>	—	16単位	—	<選択必修> 6単位
	養護教諭専攻	<p>入学後2年以上の在学が必要となる。</p> <p>※休学期間は在学期間に加算されない。</p> <p>2年次修了時点で、当該専攻の必修科目の単位を修得し、総単位数が63単位以上であること。</p>	—	63単位	—	—
	臨床工学専攻	<p>入学後1年以上の在学が必要となる。</p> <p>※休学期間は在学期間に加算されない。</p> <p>1年次修了時点で、当該専攻の必修科目の単位を修得し、総単位数が79単位以上であること。</p>	—	79単位	—	—